

『高校生以上の障がい者を対象とした「一生涯スポーツ」モデル事業』
報告書

NPO法人スマイルクラブ

2019年度 文部科学省委託事業

(障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究)



はじめに

NPO法人スマイルクラブは、2000年に「総合型地域スポーツクラブ」の「スポーツNPO」として発達障がい児のスポーツ教室（運動教室）を中心にスタートし、現在も多くの障がい児（者）（主に発達障がいおよび知的障がい）が定期的にスポーツや運動を楽しんでいます。

これから先を考えると今通ってきている児童が成長し、社会人として働くようになって、自分の好きなスポーツや運動を一生涯楽しめるような環境づくりが必要と考え、このモデル事業がはじまりました。

というのも今までの私たちの経験から、その子どもたちがスポーツにより少しずつ、ゆっくりではありますが成長し、社会的自立を身につけていく姿と同時に、そのスポーツの力や魅力を実感してきました。

そこでこのモデル事業をきっかけに、さらに多くの障がい児（者）が一生涯スポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいきたいと考え、今回のモデル事業につながっています。そのためには、スマイルクラブだけでなくいろいろな組織と連携しすすめていくことが必要であり、今回のモデル事業でそれに取り組みました。

この事業をきっかけに、全国での障がい児（者）の「生涯スポーツ」に少しでも貢献することができれば幸いです。

2020年3月

NPO法人スマイルクラブ

理事長 大浜 あつ子

本事業の目的と概要

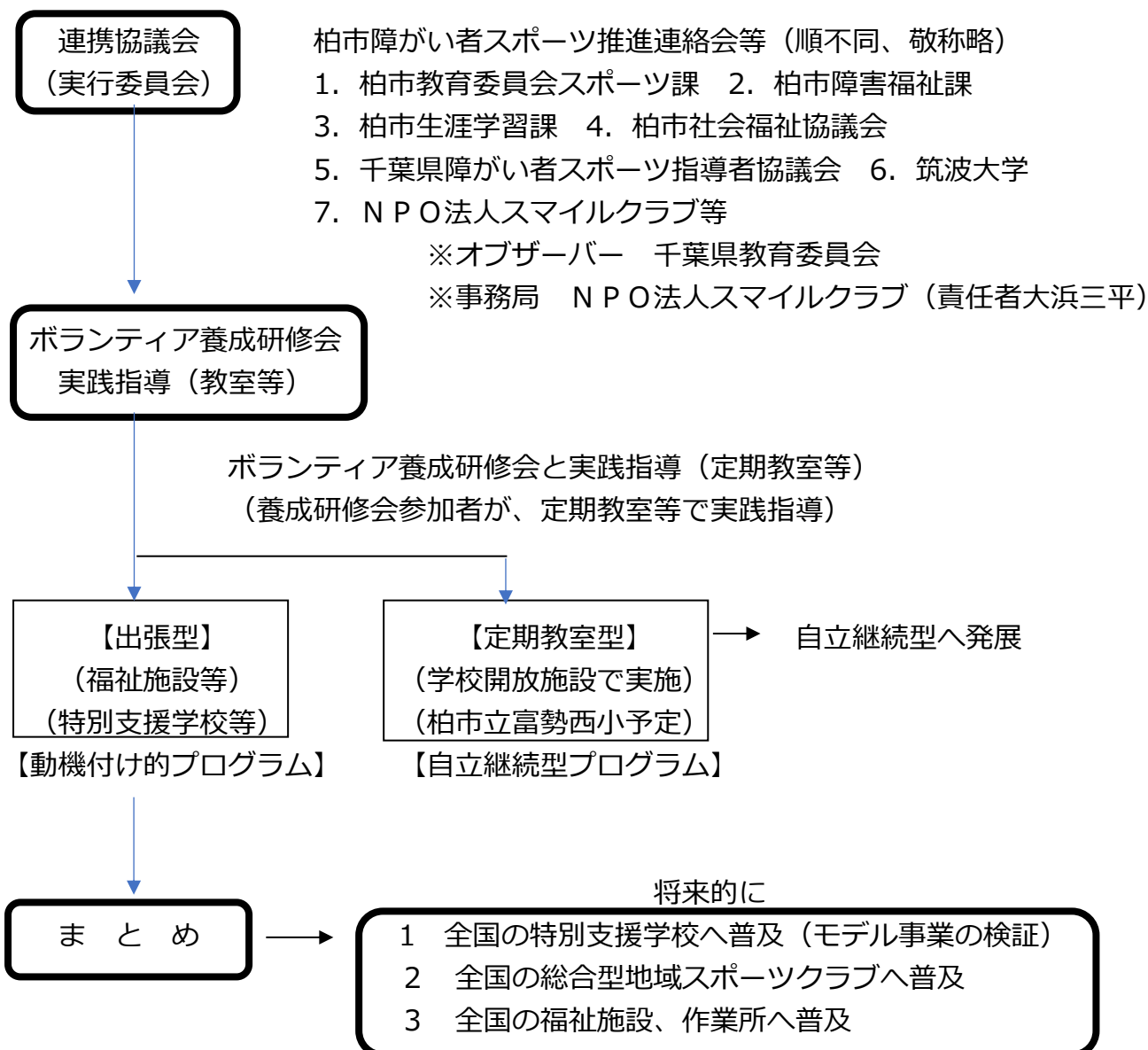
1 事業の目的

NPO法人スマイルクラブは、2000年に総合型地域スポーツクラブ（スポーツNPO）として発達障がい児の運動教室を中心にスタートし、現在約400人の障がい児（者）（主に発達障がいおよび知的障がい）が定期的にスポーツや運動を楽しんでいます。

これから5年後、10年後にその子どもたちが成長し社会人となっても、継続して一生涯を通じてスポーツや運動を楽しめるような環境が必要だと考えています。

そこで本事業を機に、今までのスマイルクラブの障がい児（者）スポーツの実績をベースに、他の組織と連携し、その環境整備をおこない、生涯を通じてスポーツを楽しみに豊かな人生につながることを目的とします。

2 事業の概要



具体的な事業内容

1 連携協議会（実行委員会）の開催と事務局の設置

1) 実行委員会の開催

①委員（順不同、敬称略）

委員長 大浜あつ子（NPO 法人スマイルクラブ理事長

兼柏市障がい者スポーツ推進連絡会会長）

委員 中島一郎（千葉障がい者スポーツ指導者協議会、国際武道大学教授）

同 澤江幸則（筑波大学准教授）

同 柏市障がい者スポーツ推進連絡会（以下そのメンバー）

橋爪良洋（柏市スポーツ課長）

小川正洋（柏市保健福祉部次長 兼 障害福祉課長）

高橋史成（社会福法人 柏市社会福祉協議会 地域福祉課）

高村光（柏市教育委員会生涯学習課長）

吉川良子（柏市スポーツ推進委員協議会会長）

菅井治子（柏市心身障害者福祉連絡協議会 以下柏障連）

中村幸子（柏障連）、宇佐美由美子（柏障連）

事務局 大浜三平（NPO 法人スマイルクラブ理事）

オブザーバー 渡邊国剛（千葉県教育委員会体育課主事）

同 文部科学省 学習・安全課 障害者学習支援推進室

②開催日（3回開催） 会場 柏市役所会議室

ア) 2019年7月19日

イ) 2019年10月4日

ウ) 2020年2月14日



会議風景

2 ボランティア養成研修と実践指導について

1) 案内チラシの作成

下記チラシを作成し、関連部署（社会福祉協議会等）へ配布した

障がい者スポーツ指導者研修会

(2019年度文科省委託事業)

◆主催 NPO法人スマイルクラブ 共催 柏市障がい者スポーツ推進連絡会

研修の目的

障がい者スポーツ指導者を養成する研修会で、主に高校生以上の障がい者（発達障がい児および知的障がい児が中心です）を対象に、スマイルクラブでの定期的運動教室や福祉施設等での運動指導に、指導補助員として活躍いただくための研修会です！

【日 時】
① 2019年8月21日（水） 9:00~12:00（定員30名・参加費無料）
② 2019年9月 7日（土） 15:00~18:00（定員30名・参加費無料）
③ 2019年9月29日（日） 9:00~12:00（定員30名・参加費無料）

【場 所】
柏市中央体育館管理棟2階会議室（柏市柏下73）

【内 容】
① 文科省委託概要説明（スマイルクラブ）（10分）
② 講義 発達障がいについての理解（50分）
③ 休憩（10分）
④ 実技 実際に指導する内容の実技（100分）
⑤ 希望調査票記入（実際に入っていただける教室の調査）、アンケート（10分）

【講 師】
筑波大学体育系准教授 澤江幸則先生（アダプテッド体育・スポーツ科学）

【資 格】
運動が可能な18歳以上の方（研修後、補助員として運動指導が可能な方）

【持ち物】
運動ができる服装と靴、筆記用具（マニュアルをお渡しします）、飲み物


【研修後の補助員指導日時・場所について】
① 定期教室：毎週木曜日 18~21時 柏市立富勢西小学校体育館（柏市布施84-2）
② 出張指導：福祉施設等への運動指導 日時、場所は別途調整中
※ 定期的に入れる方を優先します！
※ 希望調査後、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください！

【条 件】
① 謝金：定期教室1回5,000円（税込み）/人、出張指導1日10,000円（税込み）/人
② 交通費：1回1,000円/人を限度に実費精算となります

【お申込み・お問合せ】
下記NPO法人スマイルクラブホームページよりお願い致します！先着順となります！ 担当 大浜三平





NPO法人 **スマイルクラブ**

〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29

TEL04-7169-4183 FAX04-7169-3303 

Homepage <http://smile-club-npo.jp/>

E-mail smile-c@jcom.home.ne.jp



2) ボランティア養成研修会の開催 (3 回開催) 講師 筑波大学准教授 澤江幸則先生

研修参加数	実施日	ボランティア 養成研修参加人数
	8月21日	18人
	9月7日	12人
	9月29日	8人
	計	38人



研修会風景 (1)



研修会風景 (2)

養成研修会時のマニュアル（表紙、目次）

スマイルクラブ主催

（共催 柏市障がい者スポーツ推進連絡会）

障がい者スポーツ指導者研修会

- ・発達障がいについての理解
- ・実際に指導する内容の実技

澤江幸則（筑波大学体育系准教授）

博士（教育学）・臨床発達心理士

マニュアル（表紙）

目次

第1章 はじめに～スポーツ活動を支援することの意義

- ・ スポーツをすることは人権
- ・ からだの健康的な生活
- ・ 自分らしさを感じる
- ・ 地域とつながりをもつ

第2章 スポーツ場面における発達障害の理解～幼児期・学童期を中心に

- ・ 知的障害 (ID)
- ・ 自閉症スペクトラム障害 (ASD)
- ・ 注意欠如多動性障害 (ADHD)
- ・ 発達性協調運動障害 (DCD)

第3章 スポーツ場面における発達障害のある青年期の理解

- ・ 特異的身体イメージ→腰を曲げられないASD者
- ・ 運動スキル修正の難しさ→ランニング姿勢・速く歩く/ゆっくり走る
- ・ 寡動傾向→多動だったのに
- ・ 低い自己肯定感→いろいろな複雑な経験
- ・ 精神疾患との併発→気分障害や統合失調症などによる服薬
- ・ 運動実施の二極化→競技かしないか？

第4章 実践スポーツ指導方法

- ・ Adaptedの視点
- ・ わかりやすい指導の工夫
- ・ 小さな成功経験をもてる課題設定の仕方
- ・ 運動意欲をもたせるための方法
- ・ 介入プログラム例

第5章 おわりに～支援者としてのあり方～

マニュアル（目次）

3) 定期教室 参加人数 (11~2月) 柏市立富勢西小学校体育館

定期教室	月日 (回数)	教室参加人数 (延べ)	ボランティア 参加人数 (延べ)
(柏市立富勢西小)	11月 (4回)	64	16
	12月 (3回)	48	12
	1月 (4回)	64	16
	2月 (4回)	64	16
	計	240	60



教室風景

【教室指導プログラム事例】

60分と120分の2教室で実施

1. ランニング
2. 準備体操
3. トレーニング
4. 短縄
5. バドミントン (キックベース等)
6. 整理体操

4) 出張指導 参加人数 (柏特別支援学校および桐友学園)

出張指導	月 日	教室参加人数 (延べ)	ボランティア 参加人数 (延べ)
① 柏特別支援学校	12月2日	30	10
	2月10日	30	10
	計	60	20
② (社) 桐友学園	12月22日	4	13
	1月12日	5	10
	計	9	23
	合計	69	43



出張指導風景

【出張指導メニュー例】 60 分間

1. コーチ挨拶
2. 基本の体操 屈伸⇒伸脚⇒前後屈⇒廻旋⇒アキレス腱伸ばし⇒ストレッチ
3. グループに分かれ、体育館内の線に沿ってウォーキング
4. グループに分かれて風船を使ってラリー練習
5. 風船バレーの試合

◆本事業のまとめ

1 連携についての内容 (多くの関連部署との連携実績)

組織等	委員会	研修会等	教室・出張指導
1 柏市スポーツ課	柏市障がい者スポーツ推進連絡協議会としてのまとめ	市内スポーツ推進員 62 名への案内	
2 柏市障害福祉課	上記連絡協議会委員	市内福祉施設、学校への案内	1) 千葉県立柏特別支援学校との調整 2) 社会福祉法人桐友学園との調整
3 柏市生涯学習課	上記連絡協議会委員		
4 柏市社会福祉協議会	上記連絡協議会委員	市内ボランティア約 1,300 名への案内	ボランティアの参加
5 柏市スポーツ推進委員協議会	上記連絡協議会委員	研修会への参加	教室等への参加
6 柏市心身障害者福祉連絡協議会	上記連絡協議会委員		
7 筑波大学 澤江幸則先生	上記連絡協議会委員	研修会講師	
8 千葉障がい者スポーツ指導者協議会会長 中島一郎先生	上記連絡協議会委員	1) 障がい者スポーツ指導者 800 名案内 2) 全体評価アドバイス	
9 スマイルクラブ	上記会長および事務局		1) 教室責任者 2) 出張指導責任者

2 アンケート結果

1) 研修会アンケート（第1次）

【アンケート内容】

- 1 参加者ご本人について
 - ①年齢（～10代、20代、30代、40代、50代、60代～）
 - ②性別（男性、女性）
- 2 会場について
（狭かった ちょうどよい ひろい）
- 3 時間について
（短い ちょうどよい 長い）
- 4 内容について
（あまり良くなかった 普通 よかった）
- 5 その他（ご意見等がありました、どうぞご記入ください）

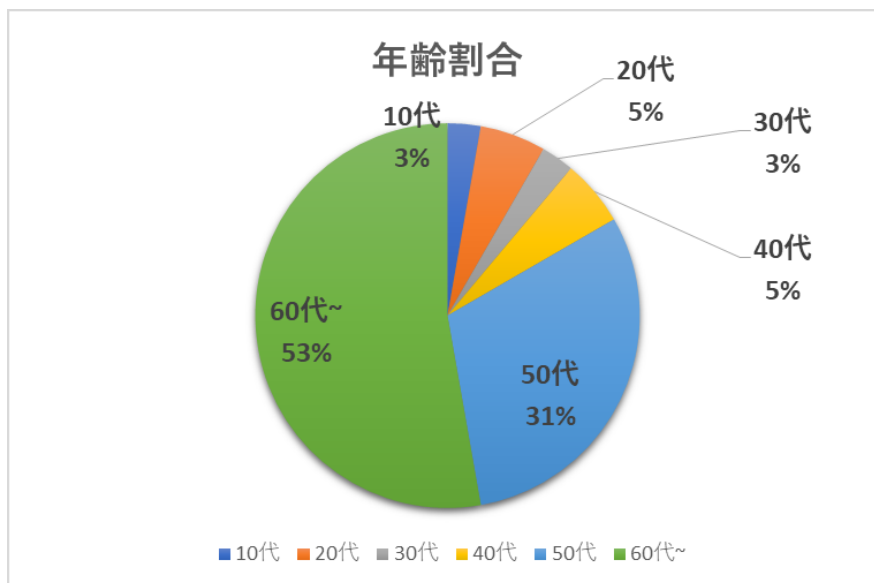
【アンケート回収率】（95%）

研修会参加者計 38 名に対し、36 名で回収率は 95%

【アンケート結果】

1 参加者について（年齢、性別について）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	計	(%)
男性	1	1	0	1	3	13	19	53%
女性	0	1	1	1	8	6	17	47%
計	1	2	1	2	11	19	36	100%
(%)	3%	6%	3%	6%	31%	53%	100%	



※60代以上が半数以上となっている

2 会場について（会場は柏市中央体育館会議室）

	狭い	丁度よい	広い	計	(%)
男性	0	16	3	19	53%
女性	0	17	0	17	47%
計	0	33	3	36	100%
(%)	0%	92%	8%	100%	

3 時間について

	短い	丁度よい	長い	計	(%)
男性	5	13	1	19	53%
女性	6	11	0	17	47%
計	11	24	1	36	100%
(%)	31%	67%	3%	100%	

4 内容について

	あまりよく なかった	普通	よかった	計	(%)
男性	0	0	19	19	53%
女性	0	0	17	17	47%
計	0	0	36	36	100%
(%)	0%	0%	100%	100%	

5 その他

- ・ 具体的な実例やアドバイスがたくさんあり、とても勉強になった
- ・ 詳しく丁寧に教えて頂き、勉強になった。知識がまだ少ないのでこのような機会はとてもうれしいです

2) 第2次アンケート結果（さらなる詳細アンケート 記入式） 抜粋

1 研修会のみに参加された方々へのアンケート（4件）

- ①2019年8月と9月に開催された研修会をどこで知りましたか？
- ・チラシ
 - ・柏市スポーツ推進委員であり柏市地域づくり部スポーツ課より案内
 - ・障害者スポーツ指導者連絡協議会、柏市ボランティアセンターから
- ②研修内容についてはどうでしたか？
下記3つのどれかに○をつけてください！
ア) 役に立った 4件 イ) それほどでもない ウ) 役に立たなかった
- ③「役に立った」と答えた方は、どんなところですか？ 下記ご記入ください！
- ・知識が深まったことと、他団体の方との情報交換ができた
 - ・筑波大 澤江先生のお言葉で「ほめ方が重要」「その子に合わせた運動を」「スポーツを通して問題が解消する。地域とつながる」
 - ・グループ学習による実技
- ④次回の研修会で希望する内容は、どんなテーマですか？ 記述形式で記入
- ・「障がい者の心情を理解した上での適切な対応」(指導、声かけなどの実技学習)
 - ・「みんなで楽しく SPORT しよう」
(その場を和ますテクニックと遊びを通しての実技学習)
 - ・脊髄損傷の人の運動中や運動後の状態と留意点など

2 研修会と教室指導（出張指導含）両方参加の方へのアンケート（15件）

（研修に参加し、実際に指導に入っていた方）

- ①2019年に開催された研修会をどこで知りましたか？下記ご記入ください！
- ・スマイルクラブ HP
 - ・柏市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課（チラシをもらった）7件
 - ・柏市社会福祉協議会からの案内
 - ・千葉県障がい者スポーツ指導者協議会から案内
 - ・知人、友人の紹介等
- ②研修を受けて役だったことはなんですか？
- ア) 知識面について
- ・障がい者スポーツの概要についての知識
 - ・障がい者スポーツの意義、今後のあり方
 - ・障がいの種類、程度、性格は一人ひとり違う
 - ・‘目からウロコ’で研修は何度となく行うべき等

イ) 実際の指導面について

- ・身近なニュースポーツ用具の障がい者スポーツへ利用方法、その指導方法
- ・障がい者との接触方法（様々な障害を理解した上での接触）
- ・コミュニケーションが一番大事
- ・実践スポーツ指導（動機づけ、視覚工夫、スモールステップ）
- ・自分の考え、他人の考え、講師の考えによる指導方法の違いを体感できた
- ・障がい者が少しでもうまく出来た時の反応の仕方等

③ 次回の研修会でやってほしい内容はどんなテーマですか？

- ・障がいの程度による対応の仕方
- ・できるだけ多くのスポーツを紹介、指導していただきたい
- ・ぜったいにやってはいけない「言葉」や「行為」があれば知りたい
- ・障がい別支援工夫実技研修（例：知的、視覚、聴覚等）
- ・ユニバーサルマナーが叫ばれていますが障がい者の方の現状と理想
- ・程度に応じた運動の種類
- ・障がいの種類ごとに障がい者との接し方、適したスポーツなど

④ 実際の教室や福祉施設の出張指導で勉強になったことは、どんなことですか？

- ・経験が少ないので全てが勉強になった
- ・教室、福祉施設とも運動を始めると目が輝くことが分かりスポーツの重要性
- ・参加者の障がいの程度の違いはあっても、ゆっくりと接してあげれば通じる
- ・障がいはあっても実際にスポーツをし、上達する姿が見られたこと
- ・指導する側の気持ちが大きく影響するため、楽しんで指導することの大切さ
- ・普段、動きが読めなくても、一つのスポーツを通じて同じ気持ち、同じ達成感を求めていることが理解できた
- ・現場では様々な状態の障がい者がいる中、ベテランの指導員がどのように指導、声かけをしているのか見ることができた

⑤ 今回の事業での課題はありますか？あるとすればどんな内容ですか？

- ・今後とも継続することで意味があり、福祉施設では施設の先生方とのミーティングや指導方法の共有も必要
- ・出張指導等の終了時に各メンバーから一言感想共有できると以降の活動に相互役立つと思う
- ・まだまだ初心者なので指導する場合、経験のある人と初心者など、チームが組めたら良いと思います
- ・指導者側と指導される側のバランス（人数）
- ・天井が低い等の時には種目を変えたり、ルールや教え方を工夫する必要がある
- ・一般の人と一緒に楽しめる場になるといいと思う

◆ 次年度以降へ向けて

1 ボランティア養成研修参加について

近隣大学への呼びかけ・・・麗澤大学、江戸川大学、東京成徳大学、帝京平成大学等への案内（若手指導者の育成）

2 出張指導先について

- 1) さらに身近に運動できるようにするために、新たに柏市内作業への案内
- 2) 作業所でできる運動・スポーツの新たな柏モデルの構築
(養成研修⇒作業所での運動指導)

3 新たな柏モデル教室の開催（発達障がい児（者）の教室）

1) 新たなモデル教室の設置

柏市内施設等での新教室による障がい児（者）スポーツの実践的アプローチ
例) 毎週土曜日 3 時間程度

2) 自立継続のための収支モデルを目標に開催

収支モデル（損益分岐人数 20 人） 今回の富勢西小学校をモデルに算出

ア) 年間収入 月収入 90,000 円×12 か月 = 1,080,000 円

【年間収入の内訳】 月会費 4,500 円×20 人 = 90,000 円/月

イ) 年間支出 月支出 90,000 円×12 か月 = 1,080,000 円

【年間支出の内訳】

教室責任者謝金 1 人 1 回 10,000 円×4 回 = 40,000 円

教室補助員謝金 1 人 1 回 5,000 円×2 人/回×月 4 回 = 40,000 円

指導者交通費 1 人 1 回 500 円×3 人×月 4 回 = 6,000 円/月

会場使用料 学校開放 0 円として算出

消耗品（ボール等） 4,000 円/月

2019 年度 文部科学省委託事業として作成

(障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究)

NPO法人スマイルクラブ

TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303



Homepage <http://smile-club-npo.jp/>

E-mail smile-c@jcom.home.ne.jp

〒277-0858 千葉県柏市豊上町 23-29

smile club
surroundings where everyone can easily enjoy sports
SINCE 2000

編集・発行 NPO法人 **スマイルクラブ**

2020 年 3 月発行



smile club
surroundings where everyone can easily enjoy sports
SINCE 2000